

## 完了後の評価個表

|      |   |
|------|---|
| 整理番号 | 2 |
|------|---|

|                        |  |       |                     |
|------------------------|--|-------|---------------------|
| 事業名                    | 民有林補助治山事業<br>(復旧治山)  | 都道府県名 | 岐阜県                 |
| 地区名                    | 足打谷 (あしうちたに)   | 実施期間  | 平成18年度～平成28年度(11年間) |
| 市町村名                   | 揖斐川町 (いびがわちょう)   | 実施主体  | 岐阜県                 |
| 完了後経過年数                | 5年   | 管理主体  |                     |
| 事業の概要・目的               | <p>本地区は、揖斐川町役場の西部に位置し、一級河川粕川<sup>かす</sup>に右岸部より合流する支流の流域であり、下流には人家、道路等の保全対象が多数存在している場所である。</p> <p>平成16年10月の台風第23号がもたらした集中豪雨により、流域内の山腹斜面が崩壊し、溪流内には多量の不安定土砂が堆積している。この土砂が流出し、河道が閉鎖されることで、洪水被害を発生させることが懸念された。このことから、溪流内に堆積した土砂の流出の防止や、山腹崩壊地の復旧による森林保全を目的とし、平成18年度から復旧治山事業を実施した。</p> <p>しかしながら、平成20年9月の西濃豪雨により新たに発生した崩壊の復旧を図るため、全体計画の見直しを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な事業内容：治山ダム工15基、山腹工0.8ha</li> <li>・総事業費：1,140,322千円(税抜き 1,082,461千円)</li> </ul> |       |                     |
| ①費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化 | <p>本事業の費用対効果分析における主たる便益は災害防止便益であり、本便益は、溪間工や山腹工の施工により土砂流出の防止や山腹崩壊の復旧を図り、下流域の人家、道路等を山地災害から保全する効果を算定したものである。</p> <p>総便益(B) 5,167,539千円<br/>         総費用(C) 1,629,339千円<br/>         分析結果(B/C) 3.17</p>  |       |                     |
| ②事業効果の発現状況             | <p>本事業の実施により、崩壊斜面の復旧および土砂流出の防止が図られ、下流域の人家や道路等が保全されている。</p>   |       |                     |
| ③事業により整備された施設の管理状況     | <p>本事業により整備された治山施設については、岐阜県において定期的に点検を行い、必要に応じ補修等を実施して適正に管理していくこととしている。</p>  |       |                     |
| ④事業実施による環境の変化          | <p>本事業実施後の大雨等でも山腹崩壊や崩壊地の拡大は確認されておらず、緑化工による植生の回復も図られている。</p>  |       |                     |
| ⑤社会経済情勢の変化             | <p>事業完了後から、保全対象に特段の変化はなく、本事業によって人家や道路等の保全が図られている。また、保全対象内にある集会所が平成27年に揖斐川町地域防災計画の避難所に指定されるなど、地域の防災計画に貢献した。</p> <p>主な保全対象：人家166戸、道路4,750m(県道900m、市道3,600m、林道250m)、農地13.2ha</p>  |       |                     |

|                |   |
|----------------|---|
| <p>⑥今後の課題等</p> | <p>本事業で整備した施設により、土砂流出の防止効果が発揮されており、現時点では施設の劣化等はなく、地元から追加整備の要望もないことから、改善措置等の必要性はないと考えられる。</p> <p>施設による効果を長期に発揮させていくため、今後は、定期的な点検と適切な維持管理に努めていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の意見<br/>本事業により、地域の防災力が向上した。事業完了後も治山施設の定期的な点検と適切な維持管理をお願いしたい。また、災害が発生した場合は継続的な治山事業の実施をお願いしたい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(揖斐郡揖斐川町、瑞岩寺<small>ずいがんじ</small>ほか2自治会)</p>                             |
| <p>評価結果</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：溪床には多量の不安定土砂が堆積し、崩壊地の拡大による土砂流出の可能性があったことから、地元からの対策の要望等を踏まえ、森林の有する山地災害防止機能を高度に発揮させることにより、国土の保全と民生の安定に資するため、事業の必要性が認められる。</li> <li>・効率性：対策工の計画に当たっては、下流谷止工2基の中詰材に現地発生土砂を有効利用することで、資材費用の軽減や工程の短縮につながり、現地に応じた最も有効かつ効率的な工法で施工され、事業の効率性が認められる。</li> <li>・有効性：治山ダム工による山脚の固定、山腹工による崩壊地の復旧が図られており、今後も事業の効果が継続することが見込まれ、現在も民生の安定や道路通行の安全が確保されていることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> |

様式1

## 便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：復旧治山事業  
施行箇所：足打谷(あしうちたに)

都道府県名：岐阜県  
(単位：千円)

| 大 区 分                 | 中 区 分    | 評 価 額   | 備 考 |
|-----------------------|----------|---|-----|
| 水源涵養 <sup>かん</sup> 便益 | 洪水防止便益   | 83,918  |     |
|                       | 流域貯水便益   | 28,855  |     |
|                       | 水質浄化便益   | 103,423   |     |
| 災害防止便益                | 山地災害防止便益 | 4,951,343                                       |     |
| 総 便 益 (B)             |          | 5,167,539                                       |     |
| 総 費 用 (C)             |          | 1,629,339                                       |     |
| 費用便益比                 |          | $B \div C = \frac{5,167,539}{1,629,339} = 3.17$ |     |

# 評価箇所概要図

|      |   |
|------|---|
| 整理番号 | 2 |
|------|---|

岐阜県

|     |                 |     |             |
|-----|-----------------|-----|-------------|
| 事業名 | 民有林補助治山事業(復旧治山) | 地区名 | 足打谷(あしうちたに) |
|-----|-----------------|-----|-------------|

